55号
令和元年
12月1日
発行

市民と議会を結ぶ広報紙

あさひ議会だより

CONTENTS

平成30年度決算 …… 2
決算審査 …… 4
第３回定例会　議案審議 …… 6
市政を問う！ 一般質問……11

平成30年度決算
議会が厳しくチェック！

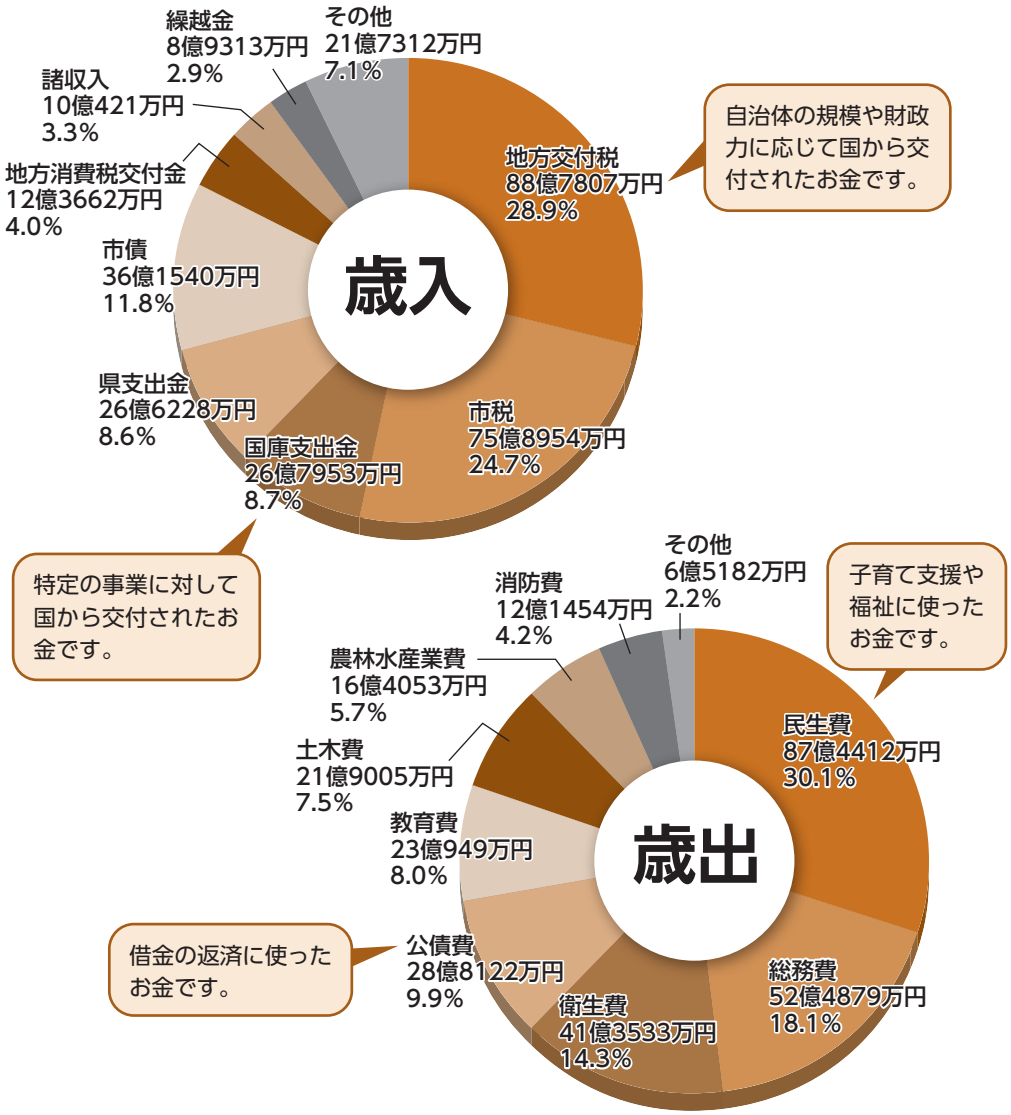
旭市産業まつり2019
秋晴れの下、多くの人で賑わった秋の祭典。
今年はあさピーのふわふわドームに子ども達は大喜び。
将来は警察官!? 白バイと一緒に「はい、ポーズ！」

一般会計歳出 290億1589万円を認定

前年度比1・1%減

一般会計

歳入　307億3190万円



歳出　290億1589万円

平成30年度一般会計決算は、歳入307億3190万円、歳出290億1589万円で、歳入歳出差引額17億1601万円から、翌年度に繰り越すべき財源６億4615万円を控除した実質収支額は10億6986万円となりました。

各会計別の決算

会計名			歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計			307億3190万円	290億1589万円
特別会計	病院事業債管理		32億8752万円	32億8752万円
	国民健康保険事業	(事業勘定)	84億9914万円	80億9120万円
		(施設勘定)	7921万円	7062万円
	後期高齢者医療		6億1337万円	6億176万円
	介護保険事業		50億9115万円	49億3457万円
	下水道事業		5億9831万円	5億3721万円
	農業集落排水事業		1億1952万円	1億1577万円
企業会計	水道事業	収益的収支	15億9759万円	13億9710万円
		資本的収支	1億812万円	1億7727万円

ここに注目！

主な3つの財政指標

1 財政力は？

財政力指数　0.494

予算のうち、どのくらいを自前の税収で賄えているかを表します。この数値が高いほど財源に余裕があるとされ、数値が1を超えると、普通地方交付税が交付されない不交付団体となります。
前年度比　0.004増

2 弾力性は？

経常収支比率　89.7%

市税などの経常的な収入に対して、人件費や扶助費などの必ず支払わなければならない経費の割合。この数値が高いほど財政が硬直化し、自由度が少ないことを表します。
前年度比　0.9ポイント増

3 借金の返済は大丈夫？

実質公債費比率　8.2%

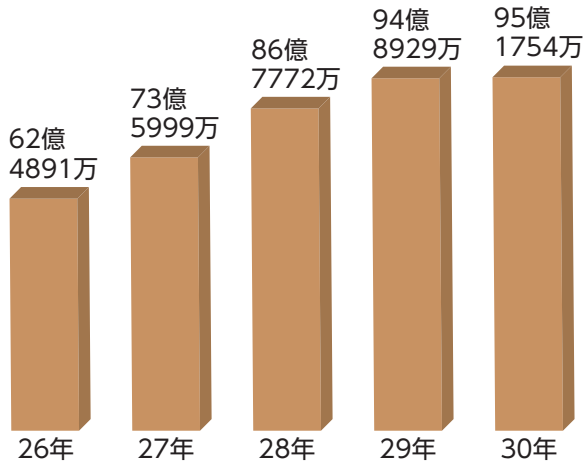
収入に対する借金返済額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が大きく、他の事業に充てる財源を圧迫することになります。この数値が25%を超えるとイエローカード、35%を超えるとレッドカードです。
前年度比　0.3ポイント減

監査委員がチェック

予算執行は適正

堀江監査委員より「平成30年度各種会計における決算諸表等は、いずれも法令に準拠して作成されており、予算の執行については、所期の目的に沿って適正になされたものと認める。また、健全化判断比率及び資金不足比率の審査において、実質公債費比率は前年度から0.3ポイントの改善が図られるなど、いずれの比率も良好な状態にあり、財政運営が法令等の趣旨に沿って適正になされている」とする決算審査報告がありました。

財政調整基金の推移



財政調整基金とは

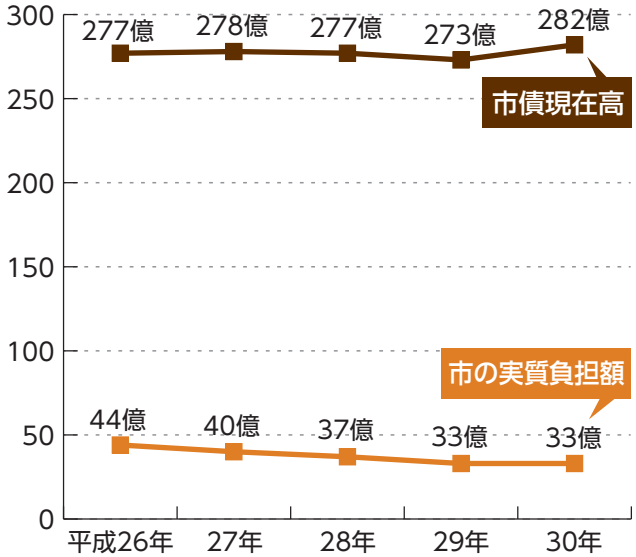
財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。

合併による地方交付税の特例、行財政改革による経費の削減などにより年々増加している。

[参考]近隣市の状況は？

●銚子市　2億1433万円
●匝瑳市　30億6530万円
●香取市　65億5449万円

市債の推移



市ではお金を借りようとする際「実質公債費比率」や「将来負担比率」が高くならないよう、地方交付税算入(国が借金返済額の一定額を交付税で配慮する)のある有利な地方債を選んで借りています。

そのため、30年度で市債現在高は282億4281万円ですが、地方交付税算入見込額249億2338万円を除いた、市の実質負担額は33億1943万円となり、年々減少しています。

決算審査

お金の使い道をチェック

決算審査特別委員会が設置され、平成30年度一般会計決算をはじめとした８議案について、慎重な審査が行われました。
審査の結果、８議案とも全員賛成で認定及び可決するものと決して本会議に報告されました。
審査の項目は多岐にわたりましたので、その一部として主な審査内容を紹介します。

敬老大会の参加率を向上させるための考えは

問 会場ごとの参加者数を、今年と昨年を比較して伺う。また全体の参加率はどうだったのか。

答 東総文化会館の今年の参加者数は５５４名、昨年は８０９名で２５５名の減。海上公民館の今年の参加者数は２４５名、昨年は２８７名で４７名の減。飯岡ユートピアセンターの今年の参加者数は２４９名、昨年は２８７名で38名の減。

今年の参加率は約７・３％、昨年は９・７％で約２・４ポイントの減。台風の影響と雨により、昨年よりは参加者が少なくなったが、それでも全体で１００名以上の参加があった。

問 70歳以上の方が1万4千人程度いる中で、参加率が1割以下となっている。毎年同じようにやっていては、なかなか人を集めることはできないと思うが、何か考えはあるか。

答 アンケートなども実施しており、年に1度の敬老大会の中身を充実させようと検討している。例えばペアシートを作ったり、詐欺の注意喚起を含めた寸劇のようなものができないか、考えとしてはあるが、これから幅広い意見を聞きながら、予算を掛けずに工夫していきたい。

民間保育士の賃金改善を

問 民間の保育士の方からは、給料が安いという話を聞くが、このことについて、市はどのように考えているのか。

答 公立の保育士と民間の保育士の賃金格差はまだまだある。しかし、保育士処遇改善事業を開始してからまだ2年だが、徐々に改善はされてきていると考えている。

問 本市に待機児童はいないということだが、市の保育所で希望するところに入れないという声も聞くが、どのように対応をしているのか。

答 保育所は学校と違って通学区域がないため、市全体の定員として考えると待機児童はいない。保育所によっては定員を超えているところもあるため、その場合は近隣の保育所を紹介している。

いいおか保育所の子どもたちによる遊戯

空き家対策は進んでいるのか

問 今回の調査により、空き家の可能性が高い物件が1129件あるということだが、今後の予定は。

答 今年度は庁内で関係各課の連携体制を構築していく。そして来年度の

30年度に改築工事を行ったいいおか幼稚園

PICK UP! 質問があった事業を紹介

敬老大会開催事業　223万円

市内に住む70歳以上の方を対象に、東総文化会館、海上公民館、いいおかユートピアセンターの３会場で開催。さまざまな団体が芸能発表などで健康と長寿を祝福する。

保育士処遇改善事業　3228万円

民間保育施設等に勤務する常勤保育士等の処置改善を図るため、保育士一人当たり月額２万円を民間保育施設等９施設へ助成。

対象者数　141名

空き家対策推進事業　896万円

空き家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている実態を受け、市内にある空き家等の実態を把握するために調査を実施。

消防団活動費　3646万円

消防団活動に必要な消防団員の報酬の支給及び費用弁償の支払いを行う。

一般団員　715名

本部役員　54名

防火水槽設置工事　544万円

耐震性貯水槽を設置したことにより、大規模地震等の災害発生時に有効な水利が確保され、消防力の強化が図られる。

4月くらいに対策協議会を設置して、4月から6月の間に対策計画の策定を考えている。その後は計画に沿った対策を進めていく。

災害時の消防団員報酬には特別の配慮を

問 今回の台風15号では、倒木の処理など、消防団員の方には大変助けていただいたが、チェーンソーで倒木を切ったり、移動したりと危険を伴う作業もある。災害時の報酬には特別の配慮をお願いしたい。

答 現在、団員が出動するに当たり、火災やその他災害のために出動したときの手当ては、部に対して1回6千円。それとは別に警戒または訓練のために出動したときは、一人に対して1回1千円の手当てを支給している。現状は火災などと同じ手当てを支給しているが、今後に関しては検討する。

問 地元の消防団だけでは手に負えないような場合、他の地区の消防団が応援に来ることがあるが、そういったときの手当てはどうなっているのか。

答 実際に活動すれば6千円の手当てになるが、火災が鎮火した後であれば、出動の手当てとして1千円を支給している。

これまでの貯水槽との違いは

問 耐震性貯水槽（地上型）とは、これまでの貯水槽とどのような違いがあるのか。また設置場所は。

答 これまでは地下に埋設していたものを地上に設置した。これにより防火水槽を解体撤去する際にそのまま移動できるという利点がある。

設置場所は干潟地域入野地区の中3区の青年館敷地内。

40トンの水を貯水可能

決算審査特別委員会の構成

決算審査特別委員会委員は、各常任委員会から3名ずつ選出された9名で構成されています。

委員長	木内　欽市（文教福祉）
副委員長	伊藤　房代（文教福祉）
委員	飯嶋　正利（文教福祉）
	髙木　寛（建設経済）
	宮内　保（建設経済）
	米本弥一郎（総　務）
	遠藤　保明（総　務）
	平山　清海（建設経済）
	片桐　文夫（総　務）

三川蛇園線トンネル工事委託協定
18億8866万円を可決

第3回定例会のあらまし

令和元年第3回定例会が、9月4日から9月30日までの27日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成30年度各会計決算や、令和元年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正、財産の取得、工事委託協定の締結、人事案件など22議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・認定されました。

9日に予定していた議案質疑は、台風15号の影響により、10日に延期となりました。

11日・12日には一般質問が行われ、9名の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

主な議案に関する質疑

決算（議案第1号）

▼一般会計

問 出産祝金支給事業について、30年度は215名に対し、2930万円を支給したとのことだが、その効果はどうか。

（片桐文夫議員）

答 旭市独自の事業として、第2子の出産に10万円、第3子以上に20万円の祝金を支給しており、支給された方からは、今後も続けてもらいたいという声が多くある。

問 いいおか幼稚園改築事業について、子どもの数が著しく減少している状況で、なぜ大規模増改築で定員を増やし、床面積を大幅に増やすのか、予算審議の時にも疑問が残る事業であった。

現在の定員、入所者数、一人当たりの延べ床面積を、本市の類似施設と比較して伺う。

（林晴道議員）

答 いいおか幼稚園は、利用定員が75名、入所者数58名で入所率77％、一人当たりの面積が13・6平方メートル。

こひつじ幼稚園は、利用定員が300名、入所者数316名で入所率105％、一人当たりの面積が5・4平方メートル。

うなかみ幼稚園は利用定員が100名、入所者数が68名で入所率68％、一人当たりの面積が7・6平方メートル。

問 実質収支額が10億6986万円と大きな繰越額だが、市民の要望や必要な事業を先送りにしたのではないか。

（林晴道議員）

答 実質収支額はさまざまな要素があっての、1年間の財政運営の結果であり、必要な事業や市民からの要望を先送りした結果ではない。

問 ふるさと納税について、30年度の実績は約4800万円とのことだが、県内には1億円を超える市町村が数多くある中、なぜ本市は少ないのか。

（髙橋利彦議員）

30年度返礼品申込件数1位の旭産梨

答 一番の点は、魅力ある返礼品が準備できるかということで、例えば銚子市では、魚関係の返礼品が充実しているため、1億8千万円ほど集めている。今後も多くの方の目に触れるようなPRに努めるとともに、返礼品の充実を図っていく。

問 公園維持管理費について、防犯カメラを文化の杜公園に2か所、袋公園に1か所、袋東公園に1か所設置したとのことだが、年々いろんな事故が多くなっている中で、今後はどのようにしていくのか。

（髙橋利彦議員）

答 今年度はスポーツの森公園、海上コミュニティ運動公園、三川ふれあい公園などに、計5台の防犯カメラを設置する予定。

問 九十九里観光サーフィングカップ補助金50万円は、東日本大震災により減少した観光客を呼び戻すため、サーフショップ11社が共同で始めたサーフィン大会への補助金だが、この事業効果について伺う。

（髙橋利彦議員）

答 昨年は参加者が230名以上、入込客が約800名。参加者は北は北海道から、南は宮崎県まで、全国から来ており、本市のPRにもつながっていると考える。

全国のトップ選手による熱戦が繰り広げられた

問 住宅リフォーム補助金について、かなり人気のある事業で、今年は予算額に達したため、助成を受けることができない市民が多かったとのこと。このような実情を市長はどう考えているか。

（髙橋利彦議員）

答 昨年は64件、今年は86件の申請があった。これからも要望が多くあると思うので、今年の実績を踏まえながら、来年度の予算計上をしていきたい。

問 沖縄交流事業について、市内小学生が沖縄県中城村に訪問し、児童との交流や史跡などを見学するものであり、30年度は共和小、三川小、飯岡小の5年生から選ばれた20名が参加したとのことだが、参加校と参加者の選出はどのように行っているのか。また、希望者数は把握しているのか。

（髙橋利彦議員）

答 参加校は中学校区を基本に、小学校3校ずつ5つのグループを作り、5年に1回参加対象校となるようにしている。

参加者の選出は、多くの学校では希望者本人の作文と、校長などによる面接で決定しているとのこと。希望者数は把握していない。

問 海上キャンプ場運営事業について、30年度の利用者数は市民が1484名、市外の人が2459名とのことだが、市民に多く利用してもらうために、今後どうするのか。

（髙橋利彦議員）

答 昨年まではバンガローや実習棟の整備、今年度は炊事棟の改修などを進めており、市民の利用形態に合わせて徐々に整備を進めている。今後も利用増進につなげるための検討をしていく。

自然に囲まれ非日常を体験できる海上キャンプ場

問 東京オリンピック事前キャンプ地誘致事業について、具体的な内容を伺う。

（髙橋利彦議員）

答 ホストタウン事業により、オリンピアンの日本卓球協会強化本部長の宮崎義仁さんなどによる卓球指導会・体験会を開催、また卓球の副審判台8台を購入、卓球台8台の天板を交換。

ラケットを手に指導をする宮崎強化本部長

財産の取得

（議案第20号）

▼高規格救急自動車　1台

問 今回の入札に関して、応札があったのは1者だけとのことだが、入札本来の目的である競争性を考えると疑問が残る。しっかりと競争性を持たせる方策をつくり、実施したほうがよいのでは。

（林晴道議員）

答 本案件については、車両の特殊性ということもあり、応札が1者だけだったが、入札

において競争性の確保は非常に大切と考えるので、今後多くの業者が参加できるような仕組みを考えていきたい。

工事委託協定の締結
（議案第21号）

▼三川蛇園線トンネル工事

鉄道との交差部における道路横断部のトンネル工事及び鉄道施設の設備工事を委託

相手方　ＪＲ東日本

協定金額　18億8866万円

工事期間　令和6年1月まで

問 **三川蛇園線事業は当初の事業年度、事業費から大きく3回変わっているが、変わった内容をそれぞれ伺う。**

（木内欽市議員）

答 当初は平成21年度から平成26年度までの事業計画で、全体事業費が15億4331万円。平成27年に事業期間が平成31年度に延長され、その時点の全体事業費は25億5940万円。そして今回事業期間が令和6年度に延長され、全体事業費は34億4181万円となった。

問 **当初はトンネル工事費が5億円と聞かされていて、それでも高すぎると反対していたが、どうしてこんなに金額が上がり、事業期間が延びたのか。**

（木内欽市議員）

答 当初はトンネル工事の見積もりをＪＲ以外のコンサルタント会社に依頼して、5億円という金額だったが、改めてＪＲに設計を依頼したところ、この金額になった。事業期間が延びている理由は、用地買収の関係で計画通り進んでないため。

問 **このトンネル工事はＪＲでなければできないのに、当初なぜ民間のコンサルタント会社に見積もりを依頼したのか。まるっきり無駄金ではないのか。**

（髙橋利彦議員）

答 当初この事業採択に向けて、県に交付金などの申請を出すときに、事業費の概算を出すために民間に依頼した。

トンネル工事予定箇所

討論

私はこう考える！

三川蛇園線トンネル工事について

反対

用地確保してから工事すべき

髙橋利彦議員

当初計画ではトンネルの工事費が５億円でしたが、それが10年足らずの間に約19億円と４倍の工事費にはね上がっています。執行部からは明確な説明がなく、本議案の提出者である明智市長は全く説明もしない中で、採決を行い、最終的には議会に責任を押しつけるものです。

地域の一部住民は、トンネルもないよりはあったほうがいいと言いますが、議員は将来的な財政状況や費用対効果なども総合的に考えて、大所高所から判断する必要があります。

また、地権者の同意を得られていないのにもかかわらず、トンネル工事を進める理由を、市では交渉の限界、地権者の同意を待っていたら事業が進まないとの考えですが、これでは強引にトンネル工事を進めて、地権者に圧力をかけ、地域の方に地権者をさらし者にして追い込むものであり、甚だ疑問です。

事業期間が少し遅れても問題はないので、地権者の理解を得て、用地を確保してから工事を行うべきと考え、反対します。

賛成

計画通りのルートで早期開通を望む

島田和雄議員

飯岡海上連絡道三川蛇園線は、旧飯岡町と旧海上町を南北に結ぶ連絡道路であり、産業振興と地域間交流促進路線として位置づけされている重要な路線です。

道路建設に当たっては、合併特例債を使用するため、今回のJRとの契約も18.8億円と多額だが、本市の負担は約３億円です。

路線については、当初、蛇園大坂を登るルートだったが、現在のトンネルを抜いて、海上支所に通じる路線への変更が、平成22年の３月定例会で承認されており、これに沿って用地買収もほぼ終了しています。地元でもこの路線で工事が進むものと皆思っており、地元蛇園区からは早期開通の要望をされているところです。

当初計画より予算が増加したことは、地元としても心苦しいところだが、新たに道路を造るに際して、交通利便性の向上、人や車が通る際の安全性の確保を図ることが大切であり、そのためにも計画通りのルートが最も適切なものと考え、賛成します。

常任委員会の審査

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。
審査後は賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

9月20日㈮ 午前10時～
3議案の審査

農業集落排水処理施設・江ケ崎地区クリーンセンターを視察

議案第21号
工事委託協定の締結について
（総武本線飯岡・倉橋間蛇園こ道橋新設他工事）

問 地権者の同意が得られていない箇所があるにもかかわらず、なぜこの時期に大きな金額をかけて、トンネル工事を行うための議案を上程するのか。

答 当初、令和5年度までの開通を目指し、警察署・JRと協議を行い、線形が整ったことから、JRから正式な見積もりを得て金額が決定した。今後工事を先に延ばすにしても事業費が膨らむことも予想され、現在の最適なルートで事業費が固まったことから、今回上程した。このようなことから事業は進めて、同意を得られていない地権者とは粘り強く交渉を続けていきたい。

審査結果

委員会付託の3議案について、議案第21号は賛成多数で、その他の議案は全員賛成でそれぞれ原案のとおり可決

文教福祉常任委員会

9月24日㈫　午前10時～
5議案の審査

審査の様子

議案第9号
令和元年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について

問 障害者福祉事務費の電算業務委託料について、委託内容は。

答 児童発達支援などの特定サービスにおいて、利用者負担が無償化されることから、対象者の支給決定管理システムや給付費の管理システムなどを改修し、無償化となる対象者を確認する項目などを追加する。

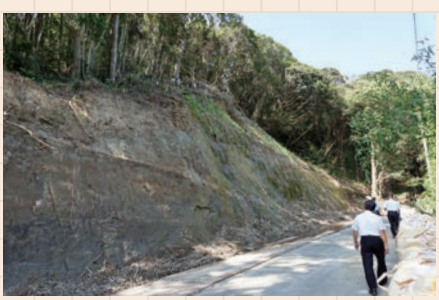
審査結果

委員会付託の5議案について、全員賛成で原案のとおり可決

総務常任委員会

9月25日㈬　午前10時～
7議案の審査

急傾斜地崩壊対策工事箇所（岩井）を視察



議案第9号
令和元年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について

問 電算システム運用事業の増額について、事業内容と、この時期に補正を行う理由は。

答 事業内容は、制度改正に伴う国民年金システムと、国民健康保険システムの改修。また、国民年金システムの産前産後免除に係る法改正で、4月から届出書などを電子媒体化できることになっていたが、ここへきて改修のめどがついたため、今回改修費用を計上した。

審査結果

委員会付託の7議案について、全員賛成で原案のとおり可決

令和元年第３回定例会 審議結果一覧

○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席　退＝退席　議＝議長　※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1 片桐 文夫	2 平山 清海	3 遠藤 保明	4 林 晴道	6 米本弥一郎	8 宮内 保	9 髙木 寛	10 飯嶋 正利	11 宮澤 芳雄	12 伊藤 保	13 島田 和雄	15 伊藤 房代	16 向後 悦世	17 景山岩三郎	18 木内 欽市	19 佐久間茂樹	20 髙橋 利彦
市　長　提　出　議　案																			
1	平成30年度旭市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
2	平成30年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
3	平成30年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
4	平成30年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
5	平成30年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
6	平成30年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
7	平成30年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
8	平成30年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
9	令和元年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
10	令和元年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
11	滝のさと自然公園の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
12	旭市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
13	旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
14	旭市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
15	旭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
16	旭市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
17	旭市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
18	旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
19	財産の取得について (水槽付き消防ポンプ車　１台)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
20	財産の取得について (高規格救急自動車　１台)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○
21	工事委託協定の締結について (総武本線飯岡・倉橋間蛇園こ道橋新設他工事)	可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	○	×	○	×
22	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	○

市政を問う！

第３回定例会　一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

都市計画税を休止しては

問　旧旭市地区のみに課税されている都市計画税だが、合併後14年間で合計約35億円が旧旭市民から徴収されているが、これは何に充てたのか。

答　都市計画道路整備や都市公園整備、下水道会計への繰出金、都市計画事業に係る起債の元利償還金に充てた。

問　合併後1ミリも動いていない都市計画の問題だが、今後の予定は。

答　都市計画マスタープランの方針を踏まえ、旧旭市地区のみに設定されている都市計画区域を市全体に拡大するため、引き続き都市計画区域の見直しを進めていく。

問　都市計画を旧3町にも広げるのはいいと思うが、課税するのはなかなか難しいと考える。今後都市計画を進めるのであれば、その間、旧旭市の都市計画税を止められないか。

飯嶋 正利
議員

答　これまで多くの方が都市計画について議論し、こういうものにしていこうと頑張ってきた中で、ここで休止というわけにはいかない。また、償還金もまだまだ残っているため、旧旭市の皆さんには改めてお願いしたい。

問　本市では旧3町の住民に対する説明会を何度も行っているが、隣の香取市では都市計画区域外だった山田、栗源地域を都市計画区域に指定するのに、100名程度の説明会だけで、5年で実現した。どこまで住民の理解を得たら先に進めるのか。

答　どれくらいという数学的なものはないが、今後都市計画についての理解度や要望を調査、把握して対応を検討していきたい。

都市計画道路「旭駅前線」

その他の質問事項

○道路標示について

○園芸生産強化支援事業について

髙橋 利彦
議員

新入札制度の結果をどう思うか

問 本年4月から入札制度が変更されたが、それにより最低制限価格が上がり、落札価格が大幅に上がった。行政は最少の経費で、最大の効果を挙げるよう努めなければならないと思うが、この結果をどう考えているか。

答 今回、情報漏えい防止などのため入札制度を変更したが、落札価格については多少上がるだろうという思いはあった。この制度はまだ始まったばかりなので、しばらくは続けていく。

再任用職員の給与高すぎる

問 職員の再任用については、年金がもらえるまでの間、週3日勤務で腰掛け的な考えでやっているが、職員の削減を図っている中で、効率的な再任用制度にするべきでは。

答 決して腰掛けだとは思っておらず、本人の今までの職歴などを勘案して、それを生かせるようなところに配置している。

問 高年齢者雇用安定法により、再任用を希望する人は全て雇用しなくてはならないことになっているが、週3日ではどうしても中途半端な仕事になってしまうと思うが、1日の単価を減らして、週5日の体制にしてはどうか。

答 現在は基本的には週3日だが、職種によっては週4日やっているところもある。今後週5日ということも考えていきたい。

問 臨時職員と再任用職員の給与を時間当たりで比較すると、臨時職員の平均時間給は1098円、臨時の保育士は1538円、再任用職員は1994円との答弁があった。再任用職員は臨時職員の約倍の給与をもらっており、資格のある保育士よりも多い状況だが、世間一般に通用するような賃金にするべきでは。

答 臨時職員については定型的で単純な仕事内容のため、再任用職員と差がついている。それぞれ置かれている立場によって、適正な額を払っているという認識をしている。

その他の質問事項
- ○旭中央病院について
- ○東京オリンピック事前キャンプ地の誘致について

広原排水対策はどうなった

問 昨年12月議会で、広原4区の区長名で提出された陳情が可決され、旭市議会から森田県知事に広原排水対策を求める意見書が送付されたが、その後の県の対応を伺う。

答 県海匝土木事務所と市建設課で、県道飯岡停車場線をはじめ、飯岡バイパス交差点の冠水箇所へ立ち会い、状況確認を行った。今年度は飯岡バイパスを横断するボックスカルバートの清掃と、流域調査を実施する予定と聞いている。

問 流域調査とは具体的にどのような内容か。また今後の事業計画は。

答 冠水原因と排水施設の問題点を洗い出し、排水施設の断面や勾配、最適流末の選定や流末条件などを把握、整理し、最大限に排水効果の発揮できる方法の選定を行う。次年度以降は、排水施設整備について、工事着手に向けた準備を進めていくとのこと。

島田 和雄
議員

稲作農家と畜産農家の連携を

問 飼料用米とWCS(ホールクロップサイレージ)の作付について、砂地の水田に畜産堆肥を投入すると効果があり、増収が期待できる。しかし、本市には大量の堆肥があるが、畜産農家と稲作農家の双方のマッチングができておらず、実際に堆肥が散布されているのは1割以下しかない。循環する農業を確立するため、いい解決策はないか。

答 飼料用米など生産拡大、コスト削減につながるよう、稲作農家と畜産農家を結びつけ、継続的に取り組んでいけるような取り組みを検討していく。

その他の質問事項
- ○合併後の旭市財政を振り返る
- ○一本算定で収支均衡が図れるか
- ○琴田地区排水について

伊藤 保
議員

多胎児の育児支援を

問 多胎児育児の大変さは周囲には理解されにくく、負担の重さから虐待のリスクも高まると指摘されているが、本市では多胎児を持つ家庭に対しての支援はあるか。

答 これまでの地域におけるニーズの状況から、多胎児に特化した支援はない。

問 先進地ではどのような支援事業を行っているか伺う。

答 滋賀県大津市では、誕生から3歳前日まで、家事や育児、健診など外出を無料で120時間サポートする「多胎児家庭向けのホームヘルパー派遣事業」を実施している。また東京都荒川区や佐賀県では、年間限度額を2万円とした「多胎児家庭向けタクシー券補助事業」を実施している。県内では、多胎児家庭に限っての支援ではないが、ヘルパーを派遣して、身の回りの世話や育児の援助をする事業が多い傾向にある。

ごみの戸別収集の実施を

問 高齢者のごみ出しについて、前回の一般質問の回答では、ごみの戸別収集は難しいとの回答だったが、県内で実施しているところはあるか。

答 高齢者や障害者に対して特例的に戸別収集を実施している市町村は県内に9市ある。

問 全国でも条件を課して、戸別収集を行っているところが結構あるが、今後戸別収集をする計画はあるか。

答 今のところ具体的な計画はないが、国のほうでも高齢者のごみ出しについて、何か施策をしなければという状況がある。条件などを検討しながら、そういった方向に向かって計画を進めていきたい。

その他の質問事項

○消防について

急発進防止装置設置に補助を

問 東京都では、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を減少させるため、70歳以上の方が運転する車に急発進防止装置をつける費用を9割補助している。高齢者だけでなく、若い方からも急発進防止装置をつけたいとの声が多数寄せられているが、本市も取りつけ費用の補助制度を考えてはどうか。

答 確かにこの装置は、踏み間違い事故の防止に効果的だと言われており、茨城県常陸太田市でも、設置費用の半分を補助している。

また、国では安全運転支援機能を有する自動車を前提として、高齢者が運転できる免許制度の創設や、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置などの性能認定制度を設ける方針と聞いている。こうした国や県の動向を踏まえ、他自治体の情報を収集し、さまざまな取り組みを研究していく。

伊藤 房代
議員

投票所の数を元に戻しては

問 7月の参議院議員選挙では、旭市の投票率が39・6％で、県内最低の投票率だったが、この原因は投票所を36か所から19か所に減らしたからではないのか。元の投票所の数に戻せないか。

答 投票区の再編については、投票所の設備面や場所の分かりやすさなどに配慮し、平成28年に実施した。投票率は投票所が遠くなったことも影響しているかもしれないが、選挙に対する有権者の関心度が大きく関わっていると考えている。今後も19の投票所で、市民への啓発活動をしっかり行っていく。

その他の質問事項

○防災について

林 晴道
議員

市民体育祭に関して全区長にアンケート調査をしては

問 市長の発案により始まった市民体育祭だが、地元区長会では開催に反対しており、毎年多くの苦情がある。当初の目的と役割は十分果たしたと思うので、今年を最後に取りやめてはどうか。

答 区長さん方には負担をかけてしまっているが、各地区の皆さんが交流、友情の輪を広げられるイベントとして、これからも継続していきたい。

問 このような運動会は四、五十年前の娯楽が少なかった時代には盛り上がったと聞いているが、今の時代には即さないということを分かっていただきたい。

そこで提案するが、全区長156名に対して、アンケート調査を実施してはどうか。もし実施しないのであれば、僕自身で行うので、その結果を尊重してもらいたい。

答 批判もあるが、賛同する声も多々あるので、まずは実行委員会できちんと議論してもらおうと思っている。

市民文化祭は4地域で開催を

問 市民文化祭は、海上、飯岡、干潟、旭の4地域で、それぞれ特色を持ち、地域密着で開催してきた。今年は会場を1か所にして開催するとのことだが、市民相互の交流や親睦を目的とするならば、僕は4地域で、隔週で開催することが望ましいと思う。まずは明智市長が参加団体と直接意見交換をしてはどうか。

答 この事業は文化協会が主体であり、1か所での開催も文化協会の総会のもとに決定したので、1、2年その結果を見たい。

今年はいいおかユートピアセンターで作品展示

その他の質問事項

○水道事業の運営について

道路にはみ出た樹木の対応を

問 道路にはみ出た樹木は、所有者の責任で切るべきだが、当然費用もかかり、なかなか解決しないのが現状。何かよい解決方法はないか。

答 解決には所有者の協力が最も重要と考えているが、さまざまな理由から困難な方には、シルバー人材センターへの紹介、また本年制定した「旭市道路環境保全事業補助金」を活用して、区や自治会による共同作業も解決の一つと考えている。今後も県や近隣の状況の情報収集に努めていく。

生涯活躍のまちにリハビリ病院はできるのか

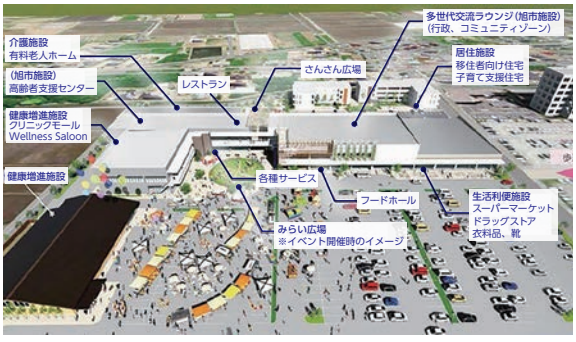
問 中央病院の隣に予定されている生涯活躍のまちだが、どのようなものができるか、いまだによくわからず、いろんなうわさが流れている。当初説明にあった、リハビリテーション病院はできるのか。

木内 欽市
議員

答 香取・海匝保健医療圏は病床過剰地域で、これ以上の病床の確保が困難なため、リハビリ病院はできない。最優秀提案者から提案されているクリニックモールには、リハビリを含め何科が入るか、また複数の診療科にするかなど、中央病院にも協力してもらいながら検討している。

問 計画予定地の地権者との交渉は順調に進んでいるのか。

答 現在、最優秀提案者が交渉を進めており、だいぶ同意は得ている状況。



イオンタウンが代表のグループが提案する「みらいあさひ」

その他の質問事項

○行政の均衡ある発展について

○行政の広域化について

○選挙投票率について

髙木 寛
議員

加齢性難聴者の補聴器購入に助成を

問 身体障害者の認定を受けた場合、障害者総合支援法によって補聴器購入の助成があるが、高齢により難聴となった場合には助成がない。全国では自治体に対して、補聴器購入への助成を求める取り組みが広がっており、県内では浦安市、船橋市が助成制度を実施しているが、このような状況をどう思うか。

答 助成制度を設けている自治体は、全国でも10から20余りという中で、今後も国や県、近隣市の動向を注視していく。

問 厚労省の介護予防マニュアルによると、高齢者のひきこもり要因の一つに、聴力の低下を挙げ、その対策を求めている。補聴器が高額なために、難聴者の14・4％しか補聴器を取りつけていない、という推計もあるので、ぜひ助成制度の創設を求める。

答 本市において早急に取り組むべきものかどうかという部分についても、高齢者の方からはまだそんなに要望が届いていないので、そういった部分もしっかり把握しながら研究していく。

子ども達によりよい教育を

問 全国学力・学習状況調査では、旭市は実施教科の平均正答率で、小・中学校とも千葉県平均を下回る結果だったとのことだが、教育関係者の皆さんで全国トップクラスの秋田県東成瀬村を行政視察してはどうか。

答 教育に対する施策、指導体制を実際に目にすることは、教職員の指導力の向上につながるため、検討する。

その他の質問事項

○市営住宅の現状と対応について

○都市計画マスタープランについて

平山 清海
議員

屋外子局を増設しては

問 市民が屋外で防災行政無線を聞くために設置している屋外子局、いわゆる野外のスピーカーは、どのような場所に、どのくらい設置しているのか。

答 避難所となる場所や住宅が密集している所を中心に、市内全体で115か所設置している。

問 道の駅季楽里あさひの周辺には屋外子局がなく、気象状況によっては音が聞こえない場合がある。道の駅は防災拠点でもあることから、屋外子局を増設したほうがよいのでは。

答 新年度に予算計上して増設する。

もっと観光に力を入れては

問 本市の代表的な観光地である飯岡灯台だが、訪れた方の滞在時間が短いように感じるので、これから行う予定のPR案を教えてもらいたい。

答 昨年「恋する灯台」に認定されて以降、これらを中心にPRをしている。今後は記念品を配布するイベントや、年末ぐらいには灯台を中心にライトアップするイベントも考えている。

問 本市の海岸では観光を対象とした潮干狩りができないとのことだが、せめて貝や魚に直接触れられるイベントができないか伺う。

答 現在、地引網保存会の協力を受けて地引網体験を行っており、大変人気のイベントであるため、これをさらに県内外にPRしていく。

矢指ケ浦復興イベントでの地引網体験

その他の質問事項

○リフォーム補助金について

茅野市議会議員と意見交換

10月29日に姉妹都市の長野県茅野市議会議員の皆さんが本市に訪れました。茅野市議会との姉妹都市交流は昭和62年から行っており、４年に１度お互いの市を訪ね、交流を深めています。

旭のここを視察してもらいました

○**道の駅「季楽里あさひ」**
駅長による概要説明。

○**津波避難施設「日の出山公園」**
総務課による概要説明。

○**旭中央病院**
吉田理事長、野村病院長をはじめ、多くの病院関係者の方による概要説明。

視察後は全議員で意見交換をしました

視察後は茅野市長、旭市長を交え、茅野市議会議員、旭市議会議員全員で意見交換をしました。

姉妹都市としてますます友好が深まったと同時に、さまざまな意見交換をすることができ、非常に実りある交流となりました。

旭中央病院にて病院の事業概要を説明

12月定例会の予定
(12月3日～12月20日)

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3 開会	4	5	6 議案質疑	7
8	9	10 一般	11 質問	12	13 建設経済常任委員会	14
15	16 文教福祉常任委員会	17 総務常任委員会	18	19	20 閉会	21

いずれも10時から開催予定です。
日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。
本会議の模様は、インターネット中継でもご覧いただけます。

千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
持続可能なまちづくりのために

10月18日銚子市犬吠埼ホテルで、千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会が行われ、14名の議員が参加しました。研修では、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事の星野智子さんによる、「SDGsを理解し、地域の発展に活かすには」をテーマに、SDGs（持続可能な開発目標）の概要から背景、各主体の動き、取り組み事例などを学びました。

編集後記

台風15号、19号、21号に伴う大雨で被害に遭われた皆様に、改めてお見舞い申し上げます。

わが旭市においても、まれにみる甚大な被害となりました。これからは毎年、関東地方または千葉県に襲ってくることが予想されます。より強度のある家の構え、農家にとっては、骨組みのしっかりしたハウスが必要なのではないかと思われます。いつ来るかわからない自然災害に立ち向かっていかなくてはと思っています。

1日も早い復旧・復興を心から祈念するとともに、関係機関の皆様のご尽力を切にお願いするものです。

旭市民の皆様、頑張って乗り越えてまいりましょう。

（委員　平山清海）

旭市議会だより編集委員会
委員長　米本弥一郎
副委員長　遠藤　保明
委　員　飯嶋　正利
委　員　平山　清海

発行／旭市議会　編集／議会だより編集委員会　〒289-2595 旭市ニの1920　☎0479-62-5304 FAX0479-62-5384 http://www.city.asahi.lg.jp/